

NHK認知症キャンペーン

認知症と生きるあなたの声が聴きたい

【ねらい】

誰もが認知症になり得る時代……。しかし、日本では、未だに「認知症＝何もわからなくなる」「認知症＝人生の終わり」と受け止めている人が少なくない。

一方、世界では、こうした人々の認識を根底から覆し、「認知症になっても、より良く生きられる社会」の実現に向けた社会変革＝**認知症革命**が始まっている。

このムーブメントを牽引しているのが、誰であろう**“認知症の人たち”**だ。国家戦略や施策づくりの議論に認知症の人たちも参画。そこで整備された施策がどのくらい効果をあげているかについても、認知症の人自身が評価に加わり、改善に向けた取り組みを行っている。

こうした世界の潮流を踏まえ、日本政府も、“**本人参画**”の方針を盛り込んだ新たな認知症戦略を今年1月に発表。それに先立つ去年10月には、日本で初めての認知症の本人による団体も設立された。

放送90年を迎えた今年、NHKでは、様々な視点から認知症への理解を深める“認知症キャンペーン”を行ってきた。その一環として、“世界アルツハイマー月間”である9月に、認知症関連の団体とも協力しながら、“**認知症の人たちの率直な思いを募集するキャンペーン**”を展開。嬉しかったこと、悲しかったこと、楽しみにしていること、家族や友人、日頃お世話になっている人たちに伝えたいことなど……。普段感じているものの、なかなか言い出せずに胸の内にしまい込んでいた思いを募り、そこで寄せられた声をVTRにして、全国に向けて紹介。「**認知症になっても、より良く生きられる**」、「**認知症になっても、人生は終わらない**」というメッセージを発信していく。

【内容】

1) ねらい

認知症と診断されて以来、家族や友人をはじめ、誰にもその思いを打ち明けられないまま、孤独な日常を生活している人も少なくない。そんな認知症の本人から、「嬉しかったこと」「悲しかったこと」「楽しみにしていること」「まわりの人たちに訴えたいこと」など、どんなことでもいいので、日頃感じていることや率直な思いを寄せてもらう。

2) 実施期間 「世界アルツハイマー月間」に定められている9月

※状況に応じて延長する可能性も

3) 告知方法

- ①認知症の本人に出演してもらうミニ番組の放送
- ②認知症関連団体に協力してもらい、声を募るチラシを配布

4) 募集方法

- ①手紙 〒150-8001 東京都渋谷区神南 2-2-1 NHK認知症キャンペーン事務局
- ②FAX 03-3465-8010
- ③メール 認知症キャンペーンホームページ <http://www.nhk.or.jp/ninchishou/>

5) 担当者連絡先 NHK制作局文化・福祉番組 ディレクター平田, デスク荒井, プロデューサー堀川 Tel 03-5455-2984